

国際ロータリー第2840地区<群馬>2013-2014年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第25-190330号

2013
10



本田ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL:027-212-2840 FAX:027-212-2841
E-mail:honda@rid2840.jp

10月号
Vol.4

2013年10月1日発行

第3分区の ホープ Our Hope



毎月各クラブの若手3名の
笑顔に掲載しています。



高崎 RC 岡本 謙一



高崎 RC 嶋方 智之



高崎 RC 神宮 嘉一



高崎南 RC 及部 裕之



高崎南 RC 小林 俊祐



高崎南 RC 小林 匡美



高崎北 RC 遠藤 清高



高崎北 RC 小森谷 剛



高崎北 RC 関崎 晴五



高崎東 RC 小池 和美



高崎東 RC 高橋 利光



高崎東 RC 茂木 光男



高崎シンフォニー RC 浦野 幸男



高崎シンフォニー RC 金子 秀隆



高崎シンフォニー RC 船渡川 信幸



高崎セントラル RC 高橋 勲



高崎セントラル RC 林 高弘



高崎セントラル RC 平見玉 博樹

「たか丸」は高崎だるまのキャラクターです。



「ガバナー月信」10月号目次

表紙.....01	パストガバナーエッセイ 高木パストガバナー ...13
目次、笑顔の会員紹介.....02	本田ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」第4回 ...15
ガバナーメッセージ03	地区大会のご案内18
米山月間に寄せて.....04	地区主要行事一覧および周年行事予定クラブ ...20
2013年規定審議会 詳細レポート第4回.....06	新会員紹介.....22
地区米山記念奨学会 指定校説明会報告09	訃報.....24
青少年交換学生歓迎会・帰朝報告会報告.....10	文庫通信.....25
地区米山記念奨学セミナー報告11	出席報告.....26
モンゴル国立健康科学大学共同支援 プロジェクト、走り出す!!12	ガバナー月信についてのお願い／編集後記 ...27

笑顔の会員紹介

氏名	岡本 謙一	嶋方 智之	神宮 嘉一	及部 裕之	小林 俊祐	小林 匡美
クラブ名	高 崎	高 崎	高 崎	高崎南	高崎南	高崎南
会社名	(有)ミズホサービス	電通システム(株)	神宮工業(株)	野村証券(株)	(有)花のハットリ	オートボックス(株)
職業分類	清掃用具賃貸	情報通信機器販売	建設業	証券取引業	花販売	自動車用品販売

氏名	遠藤 清高	小森谷 剛	関崎 晴五	小池 和美	高橋 利光	茂木 光男
クラブ名	高崎北	高崎北	高崎北	高崎東	高崎東	高崎東
会社名	(株)田村屋	(有)小森谷商店	(株)シャンゴ	ヨシダトータル サービス(有)	(株)マルミツ	茂木光男 司法書士事務所
職業分類	惣菜製造販売	損害保険	レストラン	卸売製造業	空調設備工事	司法書士

氏名	浦野 幸男	金子 秀隆	船渡川 信幸	高橋 勲	林 高弘	平児玉 博樹
クラブ名	高崎シンフォニー	高崎シンフォニー	高崎シンフォニー	高崎セントラル	高崎セントラル	高崎セントラル
会社名	浦野保険 管理事務所	合資会社カネコ	(有)メディカル コミュニケーション	(有)高富産業	つばさ法律事務所	(株)ティープロダクト
職業分類	火災保険	質 店	接骨医	金属加工	弁護士	ウェディング プロデュース



ガバナーメッセージ

10月は「職業奉仕月間」および「米山月間」。
そして、いよいよ地区大会が開催されます。

2013-14 年度

ガバナー 本田 博己

会長・幹事の皆さんこんにちは !!

ガバナー公式訪問がスタートして1か月。これまで14クラブを担当のガバナー補佐とともに回りましたが、各クラブで歓迎していただき、また会員の皆様との貴重な意見交換の時間をいただきまことにありがとうございます。公式訪問は12月まで続きますが、どうぞよろしく願いいたします。

また、いよいよ10月26～27日、前橋で地区大会が開催されます。地区大会はロータリアンのお祭りです。皆様に大いに楽しんでいただけるよう、ホストの前橋RCの実行委員会中心に準備を急ピッチで進めています。地区大会で、大勢の地区内ロータリアンと親睦・交流できるのを楽しみにしています。

ところで、10月は「職業奉仕月間」および「米山月間」です。「米山記念奨学事業」の意義については、米山記念奨学会常務理事の高木パストガバナーと米山記念奨学委員会の田中委員長の寄稿記事をご覧ください。

さて、「職業奉仕」です。「職業奉仕は難しい」とか「職業奉仕は説明し難い」とおっしゃる方がいます。「職業奉仕」という言葉をはじめて聞いた人はちょっと違和感を覚えるようです。

数年前、クラブ研修リーダーとして、クラブの新会員セミナーの講師を務めたことがあるのですが、その時こういう質問がありました。「職業」といえば、個人の生活を成り立たせている“生業(なりわい)”であり、「奉仕」といえば、他者へのサービス、社会貢献ということだろうから、どうして私利を求める「職業」と他者への「奉仕」が結びつくのかよくわからない、と。この質問をした人は「職業奉仕」という言葉に矛盾あるいは少し偽善を感じたのかもしれません。ロータリーに慣れ親しんだ私には思いがけない質問でした。

ロータリーの「職業奉仕」は、職業人であるロータリアンが自らの職業(本業)をもって社会に貢献すること。つまり、「職業」＝「奉仕」と理解できれば、「職業奉仕」という言葉は矛盾でも偽善でもなく、それほど難しい理念でもないということがわかるはずです。

そして職業人たるロータリアンに求められる「職業奉仕」の実践とは、より一層社会貢献できるよう自分の職業のサービス・レベルを高めてゆくこと、だといえるでしょう。

ただ、「職業奉仕」という言葉で、ロータリアンは各自の人生観や信念を語る事が多く、しかも百人百様です。日本のロータリアンが語る「職業奉仕」と、世界(日本を含むアジアの一部を除く)のロータリアンが語る「職業奉仕」とは、大きな違いがあります。そのあたりの考察は、ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」シリーズで連載中(次号)ですので、ご一読いただければ幸いです。



米山月間に寄せて

米山記念奨学委員会からのメッセージ

米山記念奨学委員会委員長
田中 久夫

10月は米山月間です。皆さんからのご寄付をお願いするキャンペーン・マンスです。今年度の目標は1人当たり16,000円です。この時期まで寄付をお待ちいただいた方々には、奮って財布のヒモを解いていただきスペシャルなご寄付をお願いいたします。

さて、ロータリアンの方々には先刻ご承知のことではありますが、米山の寄付金には普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。普通寄付金は、クラブ事務局を通じて日本の全ロータリークラブから定期的にいただく寄付金です。主にクラブへの年会費の中に含まれていて自動的に寄付されています。一方、特別寄付金は、個人、法人またはクラブから普通寄付金以外に任意でいただく寄付金です。金額や時期に決まりはありません。いつでもお受けします。最初の累計額3万円で準米山功労者と称されます。その後累計が10万円単位に達する都度、米山功労者（2回目以降はマルチプル第〇回）の称号に浴することができます。100万円に達すると米山功労者メジャードナーの榮譽に輝きます。

ところで、昨年度の寄付金の実績資料を見ますと、全国の34地区においていろいろな事情が垣間見えるようで興味を感じます。当2840地区では、昨年度、普通寄付金6,420,000円（約19.5%）、特別寄付金26,614,771円（約80.5%）、合計33,042,771円（100%）を受け入れました。この普通寄付金と特別寄付金の比率は、主に東日本地方では当2840地区のように特別寄付金の比重が高い傾向が見られますが、西日本地方では東日本地方に比べ、普通寄付金の比重が高くなっている傾向があります。東日本地方には個人の篤志家が沢山いるということでしょうか。あるいは、西日本地方では皆のチームワークが優れているということでしょうか。

ロータリアン1人当たりの実績では、当2840地区は17,147円（全国平均15,046円）となっており、全34地区中9位になっています。我われが、全国の会議に行っても恥ずかしくない堂々とした成績であると思っています。因みに、全国でトップは第2590地区（神奈川県、横浜市・川崎市）で28,982円です。最下位は、…それはやめておきましょう。

いずれにしても、10月は米山月間です。委員長および委員7名あるいは現役の米山奨学生らは、皆さんからの卓話の申し込みをお受けしています。ガバナー事務所へご連絡をいただければ、各クラブに近隣の委員や米山奨学生を斡旋・派遣します。よろしくお願ひします。



また、米山記念奨学会には、各種のDVDが用意されています。すべて必見の価値ありです。留学生の来日当時の戸惑い、それを支えるロータリークラブ、個人的なお世話をするカウンセラーとの触れ合い、留学生の日本文化に対する理解の深化、すべて涙なくしては見られない感動のDVDです。それらをこの機会にクラブでご覧いただくことをご推奨します。そして、今年度の目標である16,000円/人を達成しましょう。これからの留学生のために…。



「米山のテーマ」

2013年規定審議会 主な立法案採択の経緯 詳細レポート 第4回

「地区の境界」と「人頭分担金」について

 2013年規定審議会代表議員
 パスト・ガバナー 曾我 隆一


13-109

 地区の境界を変更する理事会の権限を改正する件
 (1,200名から1,100名に)

提案者：日本 秋田県第2540地区、青森県第2830地区

国際ロータリー細則を次のように改正する。(手続要覧、第228ページ)

第5条 地区

15.010. 創設

理事会はクラブを地区に分類する権限を有する。会長は、地区の一覧表をそれら地区の各境界とともに公表するものとする。このような決定は、理事会の指示によるものとする。理事会は、1地区に2つを上回るEクラブが存在しない限り、境界に関わりなくいかなる地区にもEクラブを割り当てることができる。理事会は、クラブ数が33未満あるいはロータリアンの数が~~1,200~~ 1,100名未満の地区の境界を、廃止あるいは変更することができる。関係地区内クラブの過半数の反対がある場合は、クラブ数が33以上あるいはロータリアンの数が~~1,200~~ 1,100名以上のいかなる地区の境界も変更してはならない。理事会は、関係地区ガバナーおよびクラブに相談し、該当するガバナーおよびクラブが、提案されている変更や合併に対して要望事項を提出する然るべき機会が与えられた後に初めて、地区の境界を廃止あるいは変更することができる。理事会は、地理的境界、地区発展の可能性ならびに文化、経済、言語およびその他の該当する要素を考慮するものとする。

〈提案理由〉

現在、RIの暫定規定により、2012年7月1日までは、改正を要望している箇所は、1,000という数になっている。変更を要望する理由として、現在ロータリアン数が1,100名前後の地区は、地勢的状况から地区内移動の困難な地区が多数であり（RI調査:2012.5 現在、会員数1,200名未満、1,100名を超える地区は約20ある）合併等の事態になった場合、地区内移動がより困難になることは明白であるからである。また、合併等をしたがために会員数の減少を招くことも想定される。

〈経緯と解説〉

本件は2013年日本国内の規定審議会代表議員事前打ち合わせ会で注目を集めていたものであり、2013年4月末現在、2830地区（青森県）は1,116名、2540地区（秋田県）は1,057名の会員



数なるが故に、提案者としてマイクをとった青森県の鐘ヶ江 義光 代表議員はこの一件に全力を傾注、「この制定案が否決されたら、私はハラキリをしなければならない」との下りには、会場から一瞬どよめきが起こった。

RI事務方からすれば、反対との意思表示が出されたが、288対229で採択となってまずは、めでたし、めでたしとなった。

今回の規定審議会の特徴の一つは、「弱い者いじめは止めようよ！」との雰囲気があり、本件もその一つだが、是非、紹介しておきたいのが、以下の提案である。

制定案13-127 各クラブが最低15名分の人頭分担金を支払うことを規定する件（フィリピンより提案）が、133対385で否決された後、次の正反対の主張を盛り込んだ提案が審議された。

制定案13-128

各クラブが支払う半期人頭分担金の最低額をなくす件（イギリスより提案）

〈提案理由〉

各クラブは、各年度の初めに、実際の会員数に基づいて人頭分担金を支払う責任のみを有すると、Kennington RC は信じている。会員が10名を下回るクラブに財務的な罰を課すべきでない。

〈解説〉

RI理事会からは、強い反対の意思表示があったが、264対244にて採択となった。理事会の意向に異を唱えた提案が採択されたのは、民主主義がロータリーにおいても健全に機能していることを示している。

上述したのは、会員数の少ない地区・クラブに過度な財政負担を強いることは避けるべきであるとの審議の流れから、賛否討論の末、投票されたのであるが、ここで、同じ人頭分担金の問題で、異例な扱いで採択された RI 理事会提案の制定案を紹介しておきたい。

制定案13-126

人頭分担金を増額する件

（RI理事会より提案）

国際ロータリー細則を次のように改正する（手続要覧、第 237 ページ）。

第17条 財務事項

17.030. 会費

17.030.1. 人頭分担金



各クラブは、そのクラブの会員のおのおのにつき、次のようにRIに人頭分担金を支払うものとする。
~~2010—11年度には半年ごとに米貨 25ドル、2011—2012年度には半年ごとに米貨 25ドル50セント、~~
~~2012—2013年度には半年毎に米貨 26ドル、2013—2014年度には半年ごとに米貨 26ドル50セント、~~
~~2014—15年度には半年ごとに米貨 27ドル、2015—16年度には半年ごとに米貨 27ドル50セント、~~
2016—17年度以降には半年ごとに米貨 26ドル50セント 28ドル。

人頭分担金は、規定審議会によって改正されるまで変更されないものとする。

〈経緯と解説〉

2013年規定審議会の本審議は4月22日(月)から開始となったが、今回の代表議員の多くが初めての規定審議会ということもあって、前日、日曜日の午後に義務出席とされていたオリエンテーションがあった。

田中 作次RI会長とジャーム審議会議長の挨拶の後、RI理事からパワーポイントで詳細に説明があったのが、一つは2010年から進めている「戦略計画」とRIの財務見通しについてであった。実は、この財務見通しの中で、人頭分担金を年間1ドルずつ上げることの必要性を強くアピールしていたのであった。

そして、本審議では3日目の冒頭に審議順番を無視(?)して、RI理事より特別審議の要請が出され、直ちに電子採決でなく、異例なカードによる採決によって反対意見の開陳と討論なしに一挙に採択されてしまったのである。

ちりも積もればではないが、一人1ドルアップは今、世界のロータリアンは約120万人であるから、それだけで120万ドル=1億2000万円がRIの収入増になるのである。もっと丁寧な議論があつて然るべきであったと思う。

折角、弱い立場のクラブ・地区に対して、寛容な姿勢で代表議員が対応したのに、財務優先の論理が優先してしまったのは残念と思うのは私一人だけでは無かつたらう。

地区米山記念奨学会 指定校説明会報告

9校の指定校の教授・担当者の皆様と初顔合わせ

米山記念奨学委員会 担当副幹事 星野 大輔

平成25年8月22日(木)11:30~14:00に前橋問屋センター会館にて、米山記念奨学会指定校説明会が実施されました。

昼食後、関係者全員の出席のなか、ロータリー関係者及び、大学関係者の自己紹介を行い説明会がスタートしました。

本田ガバナーよりご挨拶を頂いた後、高木常務理事より「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会について」説明が行われました。米山学年度とロータリー年度の違いから始まり、日本で民間最大の奨学団体である目的、使命について、また昨年の奨学生データと本年度の採用者数、被推薦者数の比較、米山記念奨学会がどのような仕組みか全体の流れについて説明を頂きました。

休憩をはさみ、田中委員長より、「地区米山記念奨学委員会よりのお願ひ」が行われました。特に募集要項の説明では、申込者はホームページからダウンロードして必要事項を記入の上学校の当該窓口へ提出し、指定校からの提出書類は、郵送ではなく専用WEB画面での登録で行ってほしいと説明を頂きました。

最後に意見交換を実施し、その中で、クラブ例会の出席が難しい場合はどうしたらよろしいでしょうか。と質問がありました。委員長より月4回のクラブ例会のいずれかに必ず出席するよう回答させて頂きました。

閉会は安藤評議員より挨拶を頂き約2時間にわたって行われた説明会を終了しました。



青少年交換学生 歓迎会・帰朝報告会報告

「ようこそ！」と「おかえりなさい！」

青少年交換委員会 担当副幹事 星野 洋一

平成 25 年 8 月 31 日 (土)、12:30 ~ 15:00 に前橋商工会議所会館にて青少年一年交換学生の歓迎会・帰朝報告会が実施されました。

今回は、来日したばかりの受入学生の歓迎会と、短期及び長期の派遣を終えて帰国した派遣学生の帰朝報告会の同時開催となりました。日本での生活をスタートさせたばかりの受入学生は、すこし緊張しているためか割とおとなしめでしたが、日本語でのスピーチも各自なりに準備をし、しっかりとこなしていました。特にスカイラーさんは、過去に来日経験があり日本語もとても上手で、日本が大好きなので今回念願が叶って大変よろこんでいるとのことでした。

夏期派遣学生の帰朝報告は、1ヶ月という短い期間での成果を最大限アピールすべく、皆さん十分に準備してきたことが伺えました。特に英語でのスピーチは、プレッシャーを感じつつも上達ぶりを遺憾なく披露していました。

長期派遣学生の帰朝報告は、打って変わってとてもフランクな雰囲気で行われました。一応、原稿やパワーポイントの準備はしてあるようでしたが、日本語のスピーチでは話が脱線しまくり、全員持ち時間の10分を大幅に越える発表となりました。おかげで会の終了時間も予定より30分以上遅くなってしまいましたが、1年間の想いと感動が実感できる楽しい発表でした。

今回で峯岸前委員長の関わる事業はほぼすべて終わり、これからは前原委員長のもと、新体制ですべてを進めていくこととなります。この日、青少年交換プログラムの意義とすばらしさを再認識することができましたが、1年後同様の成果を達成できるよう頑張っていきたいと思えます。

尚、次期派遣学生の募集を10月1日～31日の期間で実施します。各クラブを通じての応募となりますので、学校や学生からお問い合わせがあった場合は、積極的に対応していただきますよう、よろしく願い申し上げます。



地区米山記念奨学セミナー報告

スピーチ、映像、全て事実!いよいよ、米山月間です。

米山記念奨学委員会 担当副幹事 星野 大輔

平成25年9月14日(木) 11:30~15:30に前橋問屋センター会館にて、米山記念奨学セミナーが実施されました。

昼食後、関係者150名を超える出席のなか、セミナーがスタートしました。最初に本田博己ガバナー、竹内正幸ガバナーエレクトよりご挨拶を頂きました。つづいて田中久夫米山委員長の挨拶では、「台風接近中の中、明日、明後日はゆっくり休んで頂き、本日のセミナーはじっくり聞いて頂きたい」とセミナーへの積極的参加をお願いしておられました。

まず、米山学友会会長 劉娜さんより地区からの依頼では今回で二度目となるというスピーチで、奨学生生活の体験の中でロータリークラブから学んだことを「水を飲んで井戸を掘った人を忘れません」という中国のことわざで話してくれました。

又、どのように次の世代に伝えるかが、我々の使命ではないかと、とても感慨深く話して頂きました。

次に、米山奨学生のディオクン・カノックワンさんよりスピーチを頂きました。2012年5月~2013年4月までの活動報告をして頂き、ロータリー活動において日本の文化、習慣又、地域の人たちとの交流ができたことを話して頂きました。お二人ともとても流暢な日本語でわかりやすいスピーチでした。

次に、高木貞一郎米山記念奨学会常務理事より「ロータリー米山記念奨学事業について」説明が行われました。また、本田年度の寄付目標 16,000 円についても、過去の実績を元に説明を頂きました。

続いて、米山記念奨学会のDVD「ひろがれ!人づくりの輪」を15分間上映し休憩に入りました。

休憩後、基調講演を、群馬大学国際教育・研究センターセンター長・教授土橋敏明様より約45分講演をして頂きました。

最後に、安藤震太郎米山記念奨学会評議員より挨拶を頂き閉会となりました。

みなさんお疲れのようでしたが、無事セミナーが終了致しました。



モンゴル国立健康科学大学共同支援 プロジェクト、走り出す !!

グローバル補助金決定を受けて

前橋ロータリークラブ
幹事 菊川 善明

昨年度、未来の夢計画グローバル部門を模索する中で、山田邦子直前会長の強い熱意で浮上してきたのが、モンゴルでの標記事業でした。

6年前、群馬大学とモンゴル国立健康科学大学との学部間協定により、同大学に「理学療法学科」が新設され、多くの学生がこの療法を学び始めました。しかし、この医療分野が、市民にも切望されつつある中、実際には臨床実習に使用する機材が足りないという声が届いたことがこの事業の発端でした。

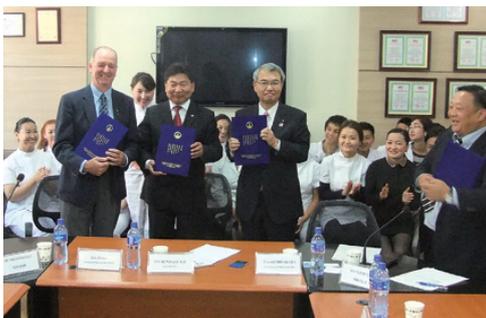
早速、昨年9月に現地を訪問し、共同支援クラブとなる在ウランバートル バヤンツルフ100ロータリークラブを友好訪問、そして当該大学の調査等を実施し、最も有効と思われる支援機材を選定してグローバル補助金を申請しました。

度重なるやり取りの末、R財団から、関係三者による、支援内容の「覚書」を調印することが必要との通達を受け、本年9月4日、当クラブから平方会長以下16名の訪問団が現地に赴き、大学をあげての熱烈歓迎の中、同文書の調印式が笑顔いっぱいの中で行なわれました。

帰国後、早速「覚書」を送付すると数日を置かず、正式に「Congratulations！」の通知が！！いよいよ、スタートです。

治療を望むモンゴルの人たちの希望を叶え、実習を通じて多くの学生の医療技術向上に役立てることを夢見て必ず成功させます。

最後に、このプロジェクトの架け橋として大きく貢献してくれたのは、かつて群馬大学医学部で留学生として学び、当クラブの国際奨学生・米山奨学生として多くの会員と親交のあったモンゴル出身のB・オイドブさんでした。彼なくして、この事業は生まれなかったことを申し添えます。





パストガバナー エッセイ

日本への留学生と米山奨学生考

パストガバナー 高木 貞一郎
(1999～2000年度ガバナー)

今、留学生の流れが時代と共に変化をしている。

日本に来ている留学生は法務省の統計によると、政府の「留学生受け入れ10万人計画」をたてた1989年の31,250人から、新たに2008年「留学生受け入れ30万人計画」を打ち出したこともあり、日本の少子化、学校の増部増校による海外留学生受け入れ拡大等も加えて、東日本大震災の影響もあって、2011年よりは暫減したが、現在137,756人と4倍強の増加となっている。

「留学生30万人計画」は、2020年までにインド、ヴェトナムなどアジアを中心とする国、地域を重点地域に指定し、海外の若者の日本への関心の低い半面、日本の有名企業への就職には関心が高い為、「留学+就職」で優秀な海外留学生を受け入れる計画。

が、英語の講義が少ない事や物価が高いイメージから日本への留学人気は低迷している。

法務省統計によると入管の留学生就職目的の処理数は2012年10,969人、震災の影響で一時期減少したが、10年前の2003年3,778人より3倍に増えている。

卒業後日本での就職を目的とする留学生が増え、留学生を求める日本企業のニーズもあるところから徐々に増加傾向となっている。

世界の留学生受け入れ情勢は、今、世界の留学生受け入れ国は米国、230ヶ国地域から56万人以上が学び、インド14%続いて中国、韓国、日本の順。

中国も14万人を韓国、日本、米国外から日本を上回る留学生を受け入れている。

当初米山奨学会は、米山発足当時戦後のアジア諸民族の融和に役立てる目的でアジアからの留学生に奨学金を支給する為の基金設立を目的とした「主としてアジアのロータリークラブの所在する国又は地域から…」の寄付行為に謳った目的から始まった。

しかし、以後アジアだけでなく世界各国から留学生が来日する状況となり、目的から「アジアの」を削除した。

加えて、ロータリー財団管理委員会はロータリーのある国以外からの奨学生に対して一定の条件に従い奨学生枠を開放した決定をした。これに伴いRIから「多地区合同奉仕活動」としてRIの奉仕活動として認められたことも踏まえて、「主としてアジアのロータリークラブの所在する国又は地域から…」が目的からなくなった。



最近の米山奨学会奨学生の傾向として、日本全体の留学生傾向と共に、従来の台湾、韓国からの留学生に代わり、中国からの留学生の増加、私費留学生の増加、日本企業の外国人就業者の積極的採用により学業終了後母国に帰って活躍する留学生より日本での就職を希望する留学生が増加している。

現在、米山奨学会は、「苦学生」の支援から「優秀な学生」に対象をシフトしている。又増える留学生に対応して1,000人枠で奨学金を支給をしていたが、会がロータリアンの寄付に基づく運営でもあり、財務的な理由もあり、採用枠は其の俛で支給額を減らす案もあったが、採用枠を800名枠に縮小、現在は700名枠で対応をしている。

米山奨学会の留学生の出身国は、723人中、中国316人、韓国135人、ヴェトナム66人、台湾35人、マレーシア27人となっている。

2840地区（群馬県）では、19人中、中国13人、ヴェトナム外6人となっている。

日本学生支援機構の資料によれば、日本での留学生の出身国は、13.7万人のうち中国8.5万人、1.5万人韓国、台湾4.6千人続いてヴェトナム4.3千人。

群馬県では、1,176人中、中国が896人、ヴェトナムが69人、マレーシアが56人、韓国28人、ネパール20人、台湾は14人で、うち中国留学生が76%を占めている。（群馬大学国際課調）。

米山奨学会は、補助金等一切なくロータリアンの寄付によって賄われているので、留学生の流れが変化している現状と、ロータリアンのアンケートによる奨学生への希望即ち、留学生出身国の一国偏重、帰国して母国に貢献する留学生、苦学生支援等の奨学金シフトと現状とのギャップがあり、今後の課題となっている。

ガバナー・コラム **ロータリーの誤解・正解** シリーズ〈第4回〉

第4回 「四大奉仕」がどうして 「五大奉仕」になったのか？

ガバナー 本田 博己

2010年の規定審議会で、『第五奉仕部門、「青少年奉仕」を加える件』（制定案10－87）が修正採択されました。（「青少年」を「新世代」に修正。2013年の規定審議会で「新世代」から「青少年」に名称が戻ったのは既報の通り。）

このとき、長年馴染んできた「四大奉仕」が「五大奉仕」になったことに違和感を覚え、「四大奉仕がどうして五大奉仕になるのか？ 四大奉仕は四大奉仕ではないか。奉仕部門を追加する必要があるのか？」と疑念を抱いたロータリアンも多かったと思います。

どうして奉仕部門が増えたのか？ まずしばらくは、私たちが慣れ親しんできた「四大奉仕」という言葉について考えてみます。

日本語では、三大〇〇とか、四大〇〇という言い方で、多くの中から代表的な三つや四つを挙げる（ビッグ3、ベスト4など）ことがよくあります。ところが、日本のロータリーで「四大奉仕」と言うとき、この奉仕の4分類は、絶対的・本質的な分類で、変えようがないものとして理解されてきました。

仏教用語に「四大」（しだい）という言葉があります。これは「一切の物体を構成する地・水・火・風の4元素」（広辞苑）という意味で、世界はこの4元素によって成り立っているとされます。日本のロータリーで使われてきた「四大奉仕」の「四大」という言葉の語感もこれに近い気がします。

さて、「四大奉仕（部門）」は、英語では“Four Avenues of Service”と言います。“avenue”は英和辞典（リーダーズ英和）では、①並木道、大通り、道路 ②（目的に通ずる）道、（目的の）達成方法、（目標への）接近手段と定義されています。つまり、「四大奉仕（部門）」は、日本語の語感にある絶対的・本質的な要素としての四つの奉仕部門、というより、奉仕という目的を達成するための手段・方法を分類すれば四つになるということで、「奉仕の4部門」くらいに訳しておけばよかったのかも知れません。

今から86年前に「四大奉仕（部門）」が確立したときの経緯を確認しておきましょう。

1927年、ベルギーのオステンド国際大会で「目標設定計画」（*The Aims and Objects Plan*）が採択されました。初期のロータリーにおいては、その活動は例会内と例会外に分類するだけでしたが、活動が多岐にわたり複雑化するにつれ、奉仕プログラムを調和する必要がでてきました。クラブの管理運営を奉仕活動の実践に対応させ分類・整理する目的でつくられたのが、「目標設定計画」です。この計画を解説したパンフレットには「目標設定計画は、個々の会員に対してロータリーの理解を助け、日常の活動において奉仕の理想の適用を奨励し、且つ活動プログラムの調和を図ること



を目的とする」と書かれています。

この計画の中で提示されたのが、「四大奉仕部門」(The Four Avenues of Service) に分類された委員会構成です。実は、1927年オステンド大会では「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」の3部門(「三大奉仕」!)でしたが、翌年の1928年ミネアポリス国際大会で「国際奉仕」が追加され「四大奉仕部門」となったのです。

「目標設定計画」では、クラブの活動を「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」の4部門に分け、それぞれ委員会を編成します。これにより、クラブの組織と奉仕活動に整合性ができ、運営が円滑になりました。それ以後、この「四大奉仕部門」は、ロータリーの管理運営の基本的枠組みとして定着したのです。

最初から「四大奉仕部門」として確立していたのではなく、3部門から4部門になったこと、そして、もともとクラブ管理運営上の分類・枠組みであったことを考えれば、ロータリーの発展や変化に合わせてその枠組みが変わっていてもなんの不思議もありません。

2004年のRI理事会で決定されたCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)に基づく機能別の委員会構成が推奨され始めたころ、「四大奉仕があるのだからCLPなど必要ない!」という声が日本では多かったのですが、「四大奉仕部門」そのものが、86年前のCLPといってもよいのです。

2007年の規定審議会で、標準ロータリー・クラブ定款の第5条に、「四大奉仕部門」の定義が掲載されることになりました。そして、冒頭述べたように、2010年の規定審議会で「青少年(新世代)奉仕」が第五の奉仕部門として加わり、「五大奉仕部門」となったわけです。

ロータリークラブが社会奉仕に熱心に取り組み始めた初期の頃から、ロータリーの青少年に対する関心は高いものがありました。1927年のオステンド大会で決まった「社会奉仕委員会」の正式名称は“Community Service and Boys Work Committee”でした。標準的なクラブの組織図には、「社会奉仕委員会」の中に4つの小委員会があり、その内3つが青少年に対する奉仕の委員会でした。(「青少年委員会」「障害児童委員会」「育英基金委員会」)

また、『手続要覧』では、以前から(確認できたのは1950年版。それ以降の版はすべて)「青少年に対する奉仕」(Service to Youth)は「社会奉仕」とは別の章立てで記述されていました。2010年規定審議会で「青少年(新世代)」が奉仕部門に加わったのは青少年奉仕の長い歴史を踏まえた現状追認と言ってもよいでしょう。

ところで、「ロータリーの目的」(綱領)が、「国際ロータリー定款」と「標準ロータリークラブ定款」の両方にある(第4条)のに、「五大奉仕部門」は、なぜ「標準ロータリークラブ定款」にしか載っていないのでしょうか。それは、「五大奉仕部門」が「個々のロータリークラブの活動のための枠組み」“framework for the work of this Rotary club”であるからです。

実際、「標準ロータリー・クラブ定款」の第5条「五大奉仕部門」の各部門には、ロータリークラ



ブ会員が各奉仕部門で行うべき行動・活動が示されています。

第一部門の「クラブ奉仕」はクラブの機能を充実させるためにクラブ内で会員が取るべき行動を、第三部門の「社会奉仕」はクラブの所在する地域社会で会員が行うさまざまな取り組みを、第四部門の「国際奉仕」は他国の人々を助けることを目的としたクラブの活動やプロジェクトを、第五部門の「青少年奉仕」は青少年交換・ローターアクト・インターアクト・RYLAなどの青少年奉仕プログラムを推進することを求めています。第二部門の「職業奉仕」については、いささかややこしい議論が必要ですので、次回に譲ります。

いずれにしても、五大奉仕部門は、クラブの活動のための枠組みなのです。「標準ロータリークラブ定款」の日本語訳では、「第5条 五大奉仕部門 ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的小よび実地的な規準である。」となっています。私は、「実地的な規準 (framework)」ではあっても、「哲学的な規準」であるとは言えなくなっているのではないかと考えています。

2013年の規定審議会で、「ロータリーの目的（綱領）」に項目を追加しようとする提案が3件ありました。「ロータリーの綱領に、青少年の参加と育成に関する第5項目を追加する件」（13 - 64）、「ロータリーの綱領に新世代の奉仕と育成に関する第5項目を追加する件」（13 - 65：川口西 RC 提案）、「ロータリーの綱領に環境保護に関する第5項目を追加する件」（13 - 66）の3件です。

これらは、少しおかしい提案ではないかと思えます。これは、「ロータリーの目的（綱領）」に示された4項目と「四大奉仕部門」がイコールである、あるいは、関連している、とする「誤解」からきています。

「ロータリーの目的（綱領）」は、奉仕の理念を奨励し育むことの1点であることは、このコラムの第1回で申し上げました。「ロータリーの目的（綱領）」にある4項目が、「四大奉仕部門」の各部門と一対一で対応しているわけではありません。

「ロータリーの目的」は、ロータリーが組織として意図すること、目指すべき目標を表明したもので、私たちが最も拠りどころとすべき根本方針です。「目的」に活動の詳細を記述したり追加したりする必要はないと思えます。

一方、「四大奉仕部門」は、クラブの活動の枠組みですから、時代の変化に合わせて、追加修正があってもよいのです。実際、現在「五大奉仕部門」になっているのですが、私は、今後奉仕部門として「環境保全」や「健康問題」などが加わり、「六大奉仕部門」、「七大奉仕部門」になっても驚きません。

次回は、「五大奉仕部門」における「職業奉仕」について、欧米のロータリアンと日本のロータリアンの認識の違いを手掛かりに話を進めます。

乞うご期待！！



国際ロータリー第2840地区 2013-2014年度

地区大会のご案内

大会テーマ「希望を語ろう！」

大会プログラム

第1日目 2013年10月26日（土）

会場 前橋商工会議所会館

●地区指導者育成セミナー

13:30 登録開始 開場

14:00 開会

14:10 RI会長代理基調講演

「元気なクラブ作りのために（仮）」

15:00 ガバナー賞活動事例発表

アイデア交換

16:50 講評

17:00 閉会

●RI会長代理歓迎晚餐会

17:30～20:00

第2日目 2013年10月27日（日）

会場 ベイシア文化ホール（群馬県民会館）

9:00 登録開始 開場 友愛の広場

10:00 点鐘

10:30 RI会長代理 挨拶・講話

11:00 ガバナー報告

13:45 記念事業発表・各種表彰

14:15 RI会長代理 講演

15:00 参加クラブ紹介

ロータリーモメント発表

16:30 ガバナーエレクト紹介・挨拶

ガバナーノミネー紹介・挨拶

17:00 ガバナー謝辞・点鐘

17:30 懇親会（前橋商工会議所会館）

地区大会の見どころ

①ロータリーモメント発表

サンディエゴでの国際協議会では、毎日の本会議で my rotary moment 「私がロータリーに打ち込むきっかけとなった感動体験」のスピーチがあるそうです。

ロータリアンであれば誰でもこのような感動的な決定的瞬間を経験されているのではないのでしょうか？

今回は各クラブから私のロータリーモメントを募集し、代表の方々に地区大会で大いに語っていただきます。また、文集にまとめ、参加者全員に配布いたします。

2840地区の仲間の感動体験を聴くことにより、ロータリアンで良かったと実感すると共に大いに刺激を受けること間違いなしです。ご期待ください。



②「友愛の広場」

10月27日（日）は地区大会会場であるベイシア文化ホールロビーにて「友愛の広場」を開催します。

2840地区内の各クラブや各委員会の自慢比べや名産品の販売ブースを設け、各地よりお越し頂いたロータリアンにお楽しみいただきます。

昼食と広場での交流に1時間半と十分に時間を取っていますので各ブースの自慢の品々を堪能しながらワイワイと語り合い、交流を深めていただければ幸いです。地区大会は私たち「ロータリアンのお祭り」です。大いに盛り上がりましょう！

●RI 会長代理のご紹介

江崎 柳節（えさきりゅうせつ）氏

プロフィール

1934年（昭和9年）7月

所属クラブ 小牧ロータリークラブ（愛知県）

医療法人柳雪会江崎外科内科名誉理事長



1959年名古屋市立大学医学部卒業後、同大学医学部第1外科配属、1968年医学博士となる。その後、名古屋市立大学講師、助教授を歴任され、1978年医療法人柳雪会江崎病院（後に医療法人江崎外科内科）を開院。

ロータリー歴は1982年小牧ロータリークラブに入会、クラブ幹事、クラブ会長、第2760地区ガバナー、国際ロータリー研修リーダー、ゾーン・チャレンジ・コーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、ロータリー日本財団理事、RI2630地区大会、RI2670地区大会、RI2800地区大会RI会長代理等数々の役職を歴任。

また、ポールハリスフェロー（マルチプル）、米山功労者、メジャードナー、国際奉仕ガバナー特別賞（2002年）受賞。

著書に「ロータリーマジック」（中部経済新聞社刊）他がございます。

各種学会にも所属され、多方面にわたりご活躍中です。

※ 地区指導者育成セミナー、地区大会におきまして御講演いただきます。

ご期待ください。



2013-2014年度 地区主要行事一覧 (年度前・上期)

	開催日	項 目	場 所
2012年	10月26日(金)27日(土)	第1回ガバナー補佐会議	ヘルシーパル赤城
	11月11日(日)	疋田年度 R財団補助金・管理セミナー	伊勢崎プリオパレス
	11月29日(木)30日(金)	ガバナーエレクト&次期米山奨学委員長合同セミナー	メルパルク東京
	12月 1日(土)	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
2013年	1月 5日(土)	第3回ガバナー諮問委員会・GE壮行会(疋田事務所主催)	桐生市市民文化会館
	1月13日~19日	国際協議会(ガバナー・エレクト)	サンディエゴ
	2月 2日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)(疋田事務所主催)	桐生倶楽部
	2月10日(日)	地区チーム研修セミナー	前橋商工会議所
	3月16日(土)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月17日(日)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月19日(火)	全国会員増強セミナー	ハイアットリージェンシー
	4月 6日(土)	ロータリー財団委員会 合同会議	伊勢崎プリオパレス
	4月14日(日)	第2回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
	4月21日(日)~26日(金)	規定審議会	シカゴ
	5月12日(日)	国際ロータリー第2840地区協議会	前橋商工会議所
	5月17日(金)18日(土)	ロータリー世界平和フォーラム広島	広島国際会議場
	5月26日(日)	11:00第2回ガバナー補佐会議 13:00地区会員増強セミナー	前橋問屋センター会館
	6月15日(土)	第5回ガバナー諮問委員会(疋田事務所主催)	桐生
	6月15日(土)	新旧地区役員連絡会議(疋田事務所主催)	桐生
	6月16日(日)	RAC地区協議会	群馬県昭和庁舎
	6月23日~26日	国際大会(本田ガバナーエレクト出席)	リスボン
	6月30日(日)	ロータリー財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪
	7月 1日(月)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
	7月 6日(土)	インターアクト合同会議	高崎商科大学
	7月 6日(土)	第1回補助金委員会	伊勢崎プリオパレス
	7月13日(土)	第1回ガバナー諮問委員会	音羽の森 音羽倶楽部
	7月14日(日)	青少年交換委員会(夏期交換学生壮行会・歓迎会)	前橋問屋センター会館
	7月21日(日)	RLIディスカッションリーダー研修会 Part I	前橋問屋センター会館
	7月27日(土)	インターアクト年次大会	高崎商科大学
	8月 3日(土)	10:00 地区ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス
	8月 8日(木)	管理運営セミナー	前橋問屋センター会館
	8月10日(土)	RLIディスカッションリーダー研修会 Part II	前橋問屋センター会館
	8月11日(日)	青少年交換委員会(一年交換学生壮行会)	前橋問屋センター会館
	8月22日(木)	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館
	8月31日(土)	青少年交換委員会(帰朝報告会)	前橋商工会議所
	9月14日(土)	地区米山奨学研修セミナー	前橋問屋センター会館
	9月22日(日)	RLIパート I	前橋商工会議所
	9月28日(土)	10:30 第3回 ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋商工会議所
	9月28日(土)	13:30 第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	9月29日(日)	地区大会記念ゴルフ大会	サンコー72カントリークラブ
	10月 5日(土)	青少年交換委員会	
	10月19日(土)	青少年交換委員会	
	10月26日(土)	地区指導者育成セミナー	前橋商工会議所
	10月26日(土)	RI会長代理歓迎晩餐会	前橋商工会議所
	10月27日(日)	地区大会	ベシア文化ホール(群馬県民会館)
	11月3日(日)・4日(月)	RYLA研修会	館林
	11月 9日(土)	青少年交換学生選考会	前橋問屋センター会館
	11月10日(日)	RLIパート II	前橋問屋センター会館
	11月16日(土)	10:00 補助金管理セミナー	伊勢崎プリオパレス



2013年	12月 1日(日)	ロータリー財団地域セミナー(ゾーンセミナー)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月 2日(月)	ガバナー会(GETS)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月3日(火)4日(水)	ロータリー研究会	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月 7日(土)	米山学友会忘年会	前橋商工会議所
	12月 7日(土)	青少年交換委員会	
	12月 8日(日)	RLIパートIII	前橋問屋センター会館
	12月 日(日)	茶の湯研修会	
	12月23日(月)	青少年交換学生クリスマス会	前橋商工会議所

2013-2014年度 地区主要行事一覧 (下期)

2014年	1月 6日(月)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ラ・フォンテーヌ
	1月18日(土)	10:00 第1回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	1月26日(日)	米山記念奨学生選考会	前橋問屋センター会館
	2月 1日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)・規定審議会補欠議員選出	前橋問屋センター会館
	2月15日(土)	米山奨学生修了式・奨学生歓送会	前橋商工会議所
	2月23日(日)	新会員セミナー(RLI方式 1日コース)	前橋問屋センター会館
	3月20日(木)~23日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	4月26日(土)	10:00 地区補助金最終審査会	伊勢崎プリオパレス
	4月25日(金)~26日(土)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	高崎商科大学
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラー・米山奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁
	5月25日(日)	18:00 新旧地区役員連絡会議	群馬県庁
	6月1日(日)~4日(水)	国際大会	シドニー
	6月15日(日)	米山記念奨学生学友会総会	前橋商工会議所
	8月	会計監査報告	

2013-2014年度 周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予 定 日	開 催 場 所
前橋中央	20	2014年3月 1日(土)	前橋商工会議所
富岡中央	20	2014年3月 8日(土)	ホテルアミューズ富岡
高崎	60	2014年3月24日(月)	高崎ビューホテル
伊勢崎	60	2014年4月 5日(土)	伊勢崎プリオパレス
前橋	60	2014年4月12日(土)	前橋商工会議所
館林東	30	2014年4月20日(日)	レストラン ジョイハウス
渋川みどり	20	2014年4月29日(火)	アネーリ渋川
高崎セトル	15	2014年4月	高崎ビューホテル
前橋西	50	2014年5月10日(土)	前橋中央パソ広場(式典)・前橋リナ(記念事業)
伊勢崎東	20	2014年6月	伊勢崎プリオパレス
藤岡	50	2014年5月17日(土)	藤岡市みかぼみらい館



新会員紹介



新会員名 熊木 義隆
ク ラ ブ 前橋
入 会 日 2013年8月27日
職 業 分 類 電気工事
勤 務 先 利根電気工事(株)
役 職 代表取締役
推 薦 者 津久井 勇



新会員名 大澤 栄一郎
ク ラ ブ 前橋北
入 会 日 2013年9月2日
職 業 分 類 司法書士
勤 務 先 大澤栄一郎司法書士事務所
役 職 代表
推 薦 者 佐藤 敬



新会員名 原 和隆
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2013年6月1日
職 業 分 類 検診業
勤 務 先 医療法人原会
役 職 常務理事
推 薦 者 大竹 昌樹・上柿 敬一



新会員名 皆川 量一
ク ラ ブ 高崎
入 会 日 2013年6月3日
職 業 分 類 都市ガス供給
勤 務 先 東京ガス(株)群馬支社
役 職 支社長
推 薦 者 羽鳥 修二



新会員名 西原 哲夫
ク ラ ブ 高崎
入 会 日 2013年9月2日
職 業 分 類 たばこ販売
勤 務 先 日本たばこ産業(株)高崎支店
役 職 支店長
推 薦 者 富澤 謙吉・森田 岳志



新会員名 大西 勉
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2013年8月28日
職 業 分 類 税理士
勤 務 先 朝日税理士法人
役 職 代表社員
推 薦 者 井田 三義



新会員名 小林 馨
ク ラ ブ 高崎シンフォニー
入 会 日 2013年9月6日
職 業 分 類 経営コンサルタント
勤 務 先 小林馨税理士事務所
役 職 所長
推 薦 者 小野垣 義男



新会員名 香取 良
ク ラ ブ 太田
入 会 日 2013年9月12日
職 業 分 類 人材派遣
勤 務 先 (株)エクステリアスタッフ
役 職 代表取締役
推 薦 者 川田 光洋・岩井 健一郎



新会員名 待山 ラファット
ク ラ ブ 館林東
入 会 日 2013年7月3日
職 業 分 類 自動車販売
勤 務 先 待山通商(株)
役 職 代表取締役
推 薦 者 木村 恵一



新会員名 斎藤 克博
ク ラ ブ 渋川
入 会 日 2013年8月1日
職 業 分 類 半導体ガス製造
勤 務 先 関東電化工業(株)渋川工場
役 職 執行役員渋川工場長
推 薦 者 石田 享史



新会員紹介



新会員名 渡辺 紀幸
クラブ 渋川
入会日 2013年8月8日
職業分類 商業銀行
勤務先 群馬銀行渋川支店
役職 支店長
推薦者 町田 久



新会員名 大竹 寛
クラブ 富岡
入会日 2013年7月31日
職業分類 商業銀行
勤務先 (株)群馬銀行 富岡支店
役職 支店長
推薦者 田村 茂一



新会員を

O・MO・TE・NA・SHI



訃報 心より哀悼の意を表します。

塚越 法男 会員

- ・事業所名：太田幼稚園理事長・園長
- ・入会日：1967年7月13日
- ・逝去日：2013年9月16日（享年81歳）
- ・ロータリー歴
 - 1971 - 72年 太田ロータリークラブ幹事
 - 1980 - 81年 太田ロータリークラブ会長
 - 1981 - 82年 群馬第4分区分代理
 - 1982 - 83年 拡大増強等委員
 - 1985 - 86年 社会奉仕委員会並びに環境保全委員会委員長
 - 1990 - 93年 地区幹事
 - 1993 - 94年 会員増強委員長・クラブ奉仕委員長
 - 1994 - 96年 ロータリーの友委員
- ・表彰
 - ロータリー財団
 - マルチプルポールハリスフェロー… 2回
 - 米山功労者…………… 4回



また大切な仲間を失ってしまった！

太田ロータリークラブに1967年7月に入会され、以来46年間の長きに亘り、会長・幹事は勿論のこと1991年92年度 橋本ガバナーの時、地区幹事という要職を務められた大先輩である。

私が入会間もない時に気さくに声をかけてくれたことを今でも鮮明に覚えている。

生前のご活躍に深い感謝と尊敬を捧げ今は静かにご冥福を祈るばかりです。

合掌

太田ロータリー会長 田部井 敏弘

井本 上輔 会員

- ・事業所名：みやま地産(株)・代表取締役
- ・入会日：1971年11月12日
- ・逝去日：2013年9月16日（享年90歳）
- ・ロータリー歴
 - 1971年11月12日入会
 - 1986年11月7日一時退会
 - 1987年5月8日再入会
 - 1985 - 1986年度会長
- ・表彰
 - 第2回
 - マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 - 第5回米山功労者



井本上輔会員は、我がクラブの最高年齢会員であり第14代会長を務められました。

特に、ロータリーの創始者であるポール・ハリスが、昭和10年に来日した際、帝国ホテルで記念植樹した月桂樹にひとかたならぬ興味を持たれ、四世月桂樹を自らの手で生育され、我がクラブ創立30周年に記念植樹したのを始め、今や山形県や京都国際会館など、全国8カ所に四世月桂樹が根付いております。その功績は、ロータリーの友誌を通じて日本のロータリーの歴史に残るまでとなりました。

合掌

桐生西ロータリー会長 阿佐美 博



文庫通信 (313号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より

- ◎ 「われらは地球の相乗り客」 ジョージ・ミーンズ 1970 1p (D.365 月信)
 - ◎ 「どこに差があるか？」 ジェームズ・コンウェイ 1970 1p (D.365 月信)
 - ◎ 「ロータリーの魅力は童心と微笑」 塚本義隆 1970 1p (D.365 月信)
 - ◎ 「ホームクラブへ出席がなぜ大切」 塚本義隆 1970 1p (D.365 月信)
 - ◎ 「ロータリーの目的は4つある？」 本田博己 2013 2p (D.2840 月信)
 - ◎ 『奉仕の理想』ってどういう意味？ そして、『超我の奉仕』とはどういう関係？」
本田博己 2013 4p (D.2840 月信)
 - ◎ 「職業奉仕とロータリーの魅力」 大迫三郎 2013 2p (D.2730 月信)
 - ◎ 「会員増強月間」 沖田哲義 2013 1p (D.2710 月信)
 - ◎ 「幹事心得 10 箇条」 岡村泰岳 2013 1p (D.2720 地区協議会プログラム)
 - ◎ 「ロータリー徽章に隠された秘密」 山本正治 2013 2p (ロータリーこぼれ話)
 - ◎ 「国際貢献と二つの奉仕理念」 石井良昌 [2013] 9p (2680 地区研修セミナー講演集)
- [上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 ・ FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



第2840地区 8月出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	1,875	1,896	1,900	4	80	83.90

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区分区	前橋	3	86.93	111	111	111	0	6
	前橋西	4	86.54	52	52	52	0	4
	前橋東	3	83.58	65	65	65	0	4
	前橋北	3	88.45	64	69	69	0	5
	前橋南	3	97.92	32	32	32	0	0
	前橋中央	3	79.46	33	32	31	-1	6
	合計		87.15	357	361	360	-1	25
第2分区分区A	桐生	3	81.70	61	61	61	0	0
	桐生南	3	76.81	23	23	23	0	0
	桐生西	4	86.81	53	53	53	0	1
	桐生中央	4	72.92	24	24	24	0	3
	桐生赤城	3	88.30	42	43	42	-1	5
	合計		81.31	203	204	203	-1	9
	第2分区分区B	伊勢崎	3	90.45	72	74	74	0
群馬境		4	84.38	29	29	29	0	1
伊勢崎中央		4	88.71	64	64	64	0	0
伊勢崎南		3	74.61	21	21	21	0	1
伊勢崎東		3	93.27	30	30	30	0	2
合計			86.28	216	218	218	0	4
第3分区分区		高崎	3	90.16	61	61	61	0
	高崎南	2	78.06	62	62	62	0	5
	高崎北	3	70.16	63	69	70	1	0
	高崎東	4	75.43	37	38	38	0	1
	高崎ソフイー	4	81.08	36	37	37	0	4
	高崎セトル	3	82.08	34	36	36	0	0
	合計		79.49	293	303	304	1	10

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区分区A	太田	4	92.28	69	68	68	0	3
	太田西	3	81.61	15	17	17	0	2
	太田南	3	84.46	38	38	38	0	0
	新田	3	84.12	23	21	21	0	0
	太田中央	4	84.09	44	43	44	1	2
	合計		85.31	189	187	188	1	7
	第4分区分区B	館林	4	82.02	44	43	45	2
大泉		4	76.76	25	28	28	0	2
館林西		4	92.10	20	20	20	0	0
館林東		3	88.88	25	26	26	0	2
館林シニアム		4	93.63	25	25	25	0	0
合計			86.66	139	142	144	2	4
第5分区分区		渋川	4	97.61	54	54	56	2
	沼田	2	73.00	60	61	61	0	1
	草津	4	70.25	16	16	16	0	1
	中之条	3	94.29	23	23	23	0	1
	沼田中央	4	78.62	51	53	53	0	1
	渋川みどり	3	83.22	40	40	40	0	2
	合計		82.83	244	247	249	2	10
第6分区分区	富岡	3	94.52	48	48	48	0	4
	藤岡	4	87.50	43	42	42	0	1
	安中	3	82.14	28	28	28	0	0
	藤岡北	3	81.81	14	16	16	0	2
	富岡中央	4	86.70	42	41	41	0	1
	碓氷安中	4	78.57	14	14	14	0	2
	藤岡南	4	70.59	17	17	17	0	1
合計		83.07	234	234	234	0	11	



ガバナー月信についてのお願い

- ガバナー月信の配信は、毎月1日です。
また、2840 地区ホームページ <http://www.rid2840.jp> でも閲覧可能です。
- 出席報告の締切りは、毎月14日です。
出席報告は地区ホームページのトップページより入力してください。
なお、IDとパスワードは各事務所で御承知と思いますが、不明なクラブは本田ガバナー事務所までお問い合わせください。
- 原稿の締切りは、毎月15日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し、本田ガバナー事務所 honda@rid2840.jp まで送信してください。
なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締切りは、毎月15日です。
(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。)
新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、メールにて本田ガバナー事務所までお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に250字以内で追悼文を作成いただき、メール添付をお願いします。
※この月信のPDFデータを印刷して、各クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただくと共に会長の時間の中で要点を会員へお伝えいただければ幸いです。

編集後記

「ガバナー月信」10月号いかがだったでしょうか？

ガバナー公式訪問がスタートし、1カ月が経過しました。公式訪問は12月まで続きます。地区幹事、副幹事も同行させていただきますのでよろしく願いいたします。

さて、今月は「職業奉仕月間」および「米山月間」です。米山記念奨学会常務理事の高木パストガバナーと米山記念奨学委員会の田中委員長に御寄稿いただきました。皆様の理解を深めていただければ幸いです。

そして、いよいよ10月26～27日に前橋の地で地区大会が開催されます。ホストの前橋RCの実行委員会では、皆様に大いに楽しんでいただけるように全メンバーで準備を進めています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2013-14 年度ガバナー月信編集長 温井尚久（前橋RC）